

まんさく

第316号

社会福祉法人 光寿会
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
題字 元理事長 太田 祖 電



湖畔の宿住人のお年寄りたちの「夕涼み会」 ～ 9月6日 夕暮れ時 ～

コロナ禍以降、縮小の形とはなりましたが、良い笑顔に会えました(^^♪ 【関連記事：4頁】

316号『まんさく』もくじ

☆2頁★

- *「共生の場」へようこそ♪
- *苑庭の花壇で野菜を収穫♡ 他

☆5頁★

- *「鬼剣舞」華麗に♪
- *元気です！家族会♪

☆3頁★

- *災害を捉える
「能登から被災地だより」

☆6頁★

- *「光寿会の日々」(4コマ漫画)
- *「自然法爾」(お寺さんのお話) *「おわりに」

☆4頁★

- *地域密着型事業

光寿会では、事務系・介護系・調理系等の職員を募集中です♪

『共生の場』へようこそ♪



【光寿苑の新しいお仲間のご紹介です】

高橋 リエ さん
*西和賀町

苑庭の花壇で野菜を収穫 ♡



色々な野菜を栽培中(^_^) 右は収穫作業のお年寄り、左は美味チェックのお年寄り♡

おかげさまでした

寄贈

- ★ 東海林 保 様 [左 草]
- ★ 中島 敏子 様 [滝沢市]
- ★ ☆ 梨子下 深幸 様 [上野々]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下 前]
- ☆ 深澤 修 様 [太 田]
- ☆ 佐々木 正 様 [北上市]
- ☆ 石川 彰 様 [盛岡市]
- ☆ 下平 真理子 様 [盛岡市]
- ☆ 石川 禎子 様 [仙台市]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]

来所

- 【8月2日、23日 機能訓練ボランティア】
- ★ 伊藤敦史 先生 [秋田県]
- 【①9月7日、②8日 湯本温泉神社祭】
- ①鬼剣舞…多数、②お神輿…多数

面会・外泊

【8月1日～31日】

- 【対面面会】
- ★ 延べ103名(対象入居者30名)
- ☆ 延べ41名(対象入居者6名)
- 【自宅外出・外泊】
- ★9名(外出)、★2名(外泊)、
- ☆4名(外泊)



光寿会へのご支援
★光寿苑 ☆ひなたぼっこ、湖畔の宿

想...

災害を捉える 石川県七尾市から発信⑨

『能登から被災地だより⑨』竹原了珠氏



能登半島地震から1年9ヶ月。竹原さん曰く、「書く事で今を俯瞰する事ができます。」との事。アウトプットは考えを整理する機会となるとのことのお話を頂きました。

今日は日曜日の朝。コーヒーを淹れて飲みながら原稿を書かせて頂いていきます。こんな朝も久しぶり。震災以前は、日曜の朝はコーヒー豆をよく焙煎していたんです。今は何だか気持ち盛りが上がらなくて、こんな時は焙煎もうまくいきません。販売下さっている燻燻店から、クお客様が首を長くして待っていますよ。と聞きますが、焙煎所も公費解体するししばらく焙煎できないので、それまでに1回位はミと思っっています。

地震で少し傾いた家の朝、私がゆっくりしていると同居している猫たちも嬉しそうで、カッパからコーヒーをくすねようと隙を狙っている。アミッド(私のコーヒーが大好物)、そして私の柔らかいお腹でふみふみしたくて寄ってくる。ぽう(猫なのにワンワンと叫ぶ陣がいの猫笑)が、其々の時間をまったりと過ごしています。こんな風に災害による被害が日常に溶け込んで、ニューノーマル(以前に戻れない新しい常識の生活)な雰囲気能登の多くの人々に広がっていると感じます。以前の生活のいくらかだけを災害の変化の

中で取り戻しています。そしてさらに、新しい芽を内包しながら、ゆったりと復興への道をたどっているように思っています。

震災以降、急速に進む基いにより、合同墓の設置を考えるお寺が増えました。そんな中、私や住職を移めるお寺の境内の一角に、2株の苗を植えました。ろくに家庭菜園もできない私ですが、震災後、夢を見ました。大きな自然石の合同墓の周りにホツコ畑や自生するキイチゴ。子どもたちはキイチゴの控えめ甘さと食感を楽しみ、大人たちはコンピニで買ってきたビールをグラスに注いで、お寺のホツコを散らして鮮烈な香り。と苦みを味わう。墓の前で子どもも大人も、皆等しく大きないのちに溶け込んでいく時を迎える事を想って、墓を去っていく。

できるかどうかわかりませんが、夢に囚われる必要もない。大切なのは、暴力的に与えられた変化に耐え続けた先に、震災以前と震災以降がブレンドされた未来が、2つの苗で始まったという事。私だけではなくて、震災によって行

動変容が起こった人は沢山います。これらの人々は、新しい人間関係、新しい能力、新しい意欲を備え、其々に未来の芽を内側に包んでいます。

私が一番好きな珠洲市折戸地区では、折戸の100年を語る会が先日立ち上がりました。代々、折戸に住んでいる人。震災前に折戸に心奪われて移住してきた人。ボランティアできつかけで震災後に折戸を好きになった若い人。コロナ騒動の中で東京の本社機能の一部を珠洲に移設した会社社長。こういう人たちの集まりは、震災前にはなかった事。その会に入っている地元在住職から、

「竹原さん、折戸の100年を語る会で、今年の10月にウチノ千登の花火を打ち上げる事になったよ!観光客を呼ぶんじゃないかと、折戸に関係する人で作る、折戸や珠洲の人のための花火大会。クラウドファンディングが目標300万円!」と嬉しそうにご報告頂きました。それを聞いた私は、どんな風に協力できるのか考える事が楽しみの一つになりました。未来は横展開が、能戸で少しずつ、数珠つなぎのよう

今月の登録者の方々
16名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

残暑が厳しいぞんしょ！（笑）…「ひなたぼっこの日常」



【上2枚】 夕涼み会

【右中、右下】 上野々地区お神輿来所

【左中1枚】 枝豆脱莢作業
〔枝からさやをもぎ取る作業〕

職員募集♪

介護職員、調理職員、事務職員は急募です！
また、短時間ボランティア〔有償〕という形でも嬉しいところです。
一度、ぜひ、お問い合わせ下さい。

「鬼剣舞」華麗に♪

去る9月7日、毎年恒例の湯本神社祭の「鬼剣舞」の皆様がご来苑。雨の中、華麗なる舞いを奉納して下さいました。



第126回

126回目は、今年も参ります「家族会親睦日帰り旅行」のご案内です♪ぜひ、ご予約下さればと存じます。

【期日】11月21日(金)

【場所】気仙沼大島
旅館『亀山荘』
《漁師が営む海鮮料理の宿》



【その他】
*日帰りバス旅行となります。
*光寿苑家族会限定
*詳しくは後日お便りにて。

元気です！家族会♪

316号 光寿会の日々



イラスト：1000

さき言。たことや起ったことを忘れてしまうAばあちゃんである。よって、お金のことに聞けば、かなり職員は氣をつけて対応している一人である。それにしても、「一万円やるのは勿体ない」というところが可愛いらしいと思える。長年の経済観念、活かしやす!

▽さんぼう 三方よし△の商哲学

第115回 丸田善明

自然法爾 (じねんほうに)

南部藩は鎌倉時代、八戸に始まったという。その後、次第に版図を広げ、江戸期盛岡進出の頃には、岩手の中部を地盤に青森東部から秋田東部にかけて統治した。

盛岡築城後、元禄の大飢饉によって深刻な打撃を受けた藩経済の活性化を図るため、南部の殿様は盛岡で南園を形成していた中央の大手商人を排除。その後、招き入れたのが近江商人たちだった。

彼らは、長い間近江で培った「自利利他の精神」に立って、買ひ手や世間が大切にしたい三方よし△という「商道徳」によって地道な商りを展開していった。

盛岡に定住した近江商人たちは、藩の経済構造を交換経済へと転換させ、盛岡の城下町形成と商業発展に大きく貢献した。

▽三方よし△というような商道徳は、勝ち組を讃える競争原理主義社会から見れば、消極的な経済学かと思ってしまう。今日の経済活動への期待は、企業活動が社会・環境・経済の三側面に配慮することだという。時代遅れを自認して少々拗ねていたら、▽三方よし△は、「持続可能な経済活動」の哲学に通じるものだと聞いて驚いた。へえ、近江商人はエライ!

おわりに

京都の大谷中学・高校の学校長である乾文雄先生とは、学生時代に同じゼミで出会ってから四半世紀以上が経つ。今でも繋がっている私にとって大切な人である。その乾先生が、師である故中川皓三郎先生から言われた言葉がある。

▽ええ乾、この世にお前の嫌いな人など存在せえへんのや。その人を嫌いやと思うお前がいるだけや。お前は嫌いな人がいて、その人がお前を苦しめてると思ってる。違う! それは実実やない。その人を嫌いやと思う心が苦しいものや。そもそも嫌いな人を作り出してゐるのは誰や? △内省の時。けど繰返して起る鬼心。

※他人に鬼心を押し売りする悪質な実相